

《三瀧先生の中国語読解講座 “レベル30” 》

レベル式時事中国語読解力養成講座 2017年4月開講

個人の能力に合わせてレベルアップ！通信添削&解説動画で欠席フォローもバッチリ！
<通信講座受講者の方も安心：毎回、三瀧先生の「ワンポイント動画解説」を配信！>

① ねらい「誰がなんのために？」

・中国ビジネスに携わる日本人（駐在者は必須）

★自分自身で大切な情報を；

取れるか？ 読めるか？ 解るか？

★原文との突合せチェックができるか？

・日本企業で働く中国人社員

★本当に適切な日本語に置き換えられるか？（文書は残る）

現代中国語の書き言葉の主要な文体である「論説体（現代白話書面語）」を読むトレーニングによって、翻訳を介することなく新聞・ネット等の中国語媒体から情報を入手する能力の養成。

② 研修内容

人民日報を使用したレベル別中国語読解トレーニング(中→日訳)

<通学コース>週一回の集合研修+通信添削課題コース

<通信コース>動画解説付き

コース	最終到達 目標レベル	受講方法	初回出題日	提出回数	受講料（消費税込） （教材費は別途）
通学コース	レベル30	通学+通信	4月10日	15回	¥64,800
通信コース	レベル30	通信（動画解説付）	4月10日	15回	¥45,360

③ 到達目標

「レベル10」・・・100文字程度のセンテンスを80%以上の精度で翻訳できる

「レベル20」・・・100文字程度のセンテンスを90%以上の精度で翻訳できる

「レベル30」・・・100文字程度のセンテンスを95%以上の精度で翻訳できる

レベル 2・・・20文字程度のセンテンスを80%以上の精度で翻訳できる

例：郑州市区目前有1万多辆摩托车经过年检。

レベル 4・・・40文字程度のセンテンスを80%以上の精度で翻訳できる

（論説体文章1センテンスの標準的長さ）

例：发展与包括汤加在内的太平洋各岛国的长期友好合作关系，是中国对外政策的重要组成部分。

レベル 6・・・60文字程度のセンテンスを80%以上の精度で翻訳できる

例：目前一些城市在建设存在着“肤浅的现代化”倾向，只追求高楼林立，导致城市生态被破坏，城市历史记忆被割裂，也让城市面貌极不协调。

例：国家对土地使用者依法取得的土地使用权，在出让合同约定的使用年限届满前不收回；在特殊情况下，根据社会公共利益的需要，可以依照法律程序提前收回，并根据土地使用者使用土地的实际年限和开发土地的实际情况给予相应的补偿。

④ 適正レベル

中国語検定準4級以上の（または同水準の）知識を有していること

※但し上記に満たない場合でも受講は可能（最低条件・・・中国語辞書が引けること）

⑤ 研修概要

実施期間(通学/通信共通):

2017年4月10日～7月31日

(年末年始除く、月曜日、全15回)

時 間(通学のみ):上記同日 18:30～20:30 (2時間)

会 場(通学のみ):株海外放送センター 本社会議室 (九段下駅6番出口徒歩1分)

講 師:三瀧 正道 教授 (麗澤大学教授・海外放送センター顧問)

研修費用(定価):通学 64,800円(税込) 通信 45,360円(税込)

募集期間:2017年3月24日まで(但し期間中でも定員に達した時点で締め切り)

募集定員:通学20名(先着順)、通信50名

申込方法:当社サイト Chinavi(www.chinavi.jp)よりお申込フォームをダウンロードの上、
m-yamaguchi@obc-cd.jp までお送りください。

使用教材:『論説体中国語読解力養成講座』(東方書店) ¥2,400(税別)

(この教材は受講者各自でご用意願います。)

その他各自中国語辞書をご用意ください。

ワンポイント動画解説(通信コース):

毎回、web サイトにて三瀧先生による前回課題分のワンポイントがご視聴いただけます。

⑥ その他

(ア) お支払は、口座振込となります。お申込受付後、お支払いに関する書類をお送りいたします。

(イ) 開講後のキャンセルは承りかねますのでご了承ください。

● 講師からのメッセージ

麗澤大学教授・海外放送センター顧問 三瀧 正道

中国ビジネスがますます盛んになるにつれ、企業での中国語学習も日増しに盛んになっていますが、そのほとんどは会話中心です。会話が出来、コミュニケーションが取れるようになることの必要性は疑う余地がありません。しかし、**実際のビジネスでは各種のビジネス文書を“読めること”も、それと同等以上に重要です。**

人民日報など新聞などで用いられる文体は、現代中国語の書き言葉の主要な文体として、公文書、契約書、研究書、更には公式の場でのスピーチや通訳などに広く用いられています。したがって、現代中国理解、中国ビジネスなどには、どうしてもこのような論説体の学習が必要となりますし、これをマスターすることで、ネット上から自由に生きた情報を先取りする事も可能になります。

辞書などあらゆる道具を駆使しながら訳を書いて提出する、それを一人一人添削し、話し言葉との違いなどを詳しく説明します。自分の実力に合わせた勉強ができます。

猛スピードで変化する中国相手に、日本語で書かれた中国紹介本を読んでいて間に合うはずがありません。この授業は、各自の実力にあわせ基礎から勉強できます。まだ、そこまで行くには早い、のではなく、そこまで行く為に早めにチャレンジしてください。